

ふたみ

明石市立二見小学校
2024(令和6)年度

3月号



変わりながら続く

校長 古川 薫

厳しい寒さの中にも春の日差しが感じられるようになってまいりました。すると早速、花粉の飛散を体感される方もおられるとのこと、いつ何時も健康管理は難しいものですね。

開校152年目の二見小学校の姿はまた少し変わりました。1学期臨時号等でお知らせしていたエレベーター設置工事が進み、現在の外観は左の写真のようになっています。校舎にピタッとエレベーター塔が付いたような感じです。内側から見るとエレベーター出入り口の前に少しスペースがとられて小窓も左右についています。学校への引き渡しまであともう少しですが、工事中、皆様には何かとご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。



お礼を書いたすぐ後にお伝えするのも心苦しい話ですが、春休み期間中は運動場南西にある投てき板の撤去と、こども園との境にあるフェンスの再設置工事が予定されています。投てき板はヒマワリが描かれていて、子どもたちがボールの壁当てなどをして楽しんできました。かつては土管が小山に通っていて、「体力の山」という愛称で呼ばれた時期もあったそうです。残念ながら老朽化したことと死角ができるという問題があり、安全確保のため取り壊さざるを得なくなりました。フェンスについては老朽化のため再設置の工事を行いますが、構造上、絡まったクスノキなどの樹木も撤去しなくてはなくなりました。遊んだり慣れ親しんだものが母校から無くなるのはとても寂しいことですが、市立学校の工事は明石市政の計画に則り進めていただいています。どうぞ、春休みの工事が始まるまでのあいだに名残を惜しんでいただけたらと思います。

あとひと月もたたないうちに6年生の子どもたちが卒業生となって巣立っていきます。二見小学校はいつまでも皆さんの心のふるさととしてあり続けたいです。そのためにも、子どもたちの安全を優先確保し、学校教育や地域行事に利用しやすい学校として、少しずつ姿を変えていきます。保護者、地域の皆様方、どうぞ今後ともお力添えください。

【学校運営協議会より】

2月25日に今年度最終の学校運営協議会を開催し、全国学力学習状況調査の結果や児童の様子について協議を行いました。二見小学校の児童には、言葉の力をつけるとともに、生活習慣を整えて時間や提出物等に関する規範意識を高めることが課題であり、これらの課題解決に向けては、学校教育と家庭教育の役割分担を明確にしたうえで、連携を深めていくことが効果的なのではないかというご意見を賜りました。貴重なご意見を今後の学校運営に生かしてまいります。